

学校コード F127310107938

注3

設置年度 令和 3年度

計画の区分： 学部の設置

注1

届出

注2

桃山学院大学 ビジネスデザイン学部 ビジネスデザイン学科

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人桃山学院
令和4年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 大学統括部BDLオフィス

職名・氏名 カネコ トシヒコ
金子 敏彦

電話番号 06-4708-3561

（夜間） 06-4708-3561

e-mail bdl-office@andrew.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
2 大学院の場合は、表題を「 大学大学院 ……」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 大学 学部 学科

(旧名称: 学科(平成 年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学の設置の場合: 「 大学」
- ・学部の設置の場合: 「 大学 学部」
- ・学部の学科の設置の場合: 「 大学 学部 学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合: 「 短期大学 学科」
- ・大学院設置の場合: 「 大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合: 「 大学大学院 研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合: 「 大学大学院 研究科 専攻(修士課程)」
- ・通信教育課程の開設の場合: 「 大学 学部 学科(通信教育課程)」

- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

ビジネスデザイン学部

<ビジネスデザイン学科>	ページ
1．調査対象大学等の概要等	3
2．授業科目の概要	7
3．施設・設備の整備状況、経費	15
4．既設大学等の状況	16
5．教員組織の状況	18
6．附帯事項等に対する履行状況等	27
7．その他全般的事項	28

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人桃山学院

(2) 大学名

桃山学院大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒545-0011

大阪府大阪市阿倍野区昭和町3-1-57

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	イデタ ゼンソウ 出田 善蔵 (平成28年5月)		
学長	マキノ ニナコ 牧野 丹奈子 (平成28年5月)	ナノ ミツコ 中野 瑞彦 (令和4年4月)	任期満了のため変更、令和4年4月1日(4)
学部長	キクチ マサヤ 菊地 昌弥 (令和3年4月)		
学科長等			

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和3年度に報告済の内容 (3)

令和4年度に報告する内容 (4)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください(作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」を確認してください)。
- ・様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和4年度までの5年間)ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
ビジネスデザイン学部 ビジネスデザイン学科 学士(ビジネスデザイン)	経済学関係	4 年	200 人	- 年次 人	800 人	新規入学者を募集	

- (注)・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和 年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

(5) - 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	() []	200 (-) [-]	() []	200 (-) [-]	() []	() []	1.05倍	倍					
志願者数	() []	1623 (-) [-]	- (-) [-]	899 (-) [-]	- (-) [-]	() []							
受験者数	() []	1566 (-) [-]	- (-) [-]	872 (-) [-]	- (-) [-]	() []							
合格者数	() []	975 (-) [-]	- (-) [-]	763 (-) [-]	- (-) [-]	() []							
B 入学者数	() []	221 (-) [-]	- (-) [-]	202 (-) [-]	- (-) [-]	() []							
入学定員超過率 B/A							1.10		1.01				

- (注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
- ・()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・転入学生は記入しないでください。
- ・[]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	221 (-)	- (-)	202 (-)	[-] (-)	本学部は開設2年目であるが、経営学部 ビジネスデザイン学科（平成31年4月開 設、令和2年度末廃止）の全在学学生を転 学部の手続きを経て受け入れた。よっ て、令和4年度の3年次、4年次欄の人数 についてはその学生数を記載してい る。					
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	71 (-)	- (-)	221 (-)	[-] (-)	
3年次	/		/		[] ()	[] ()	74 (-)	- (-)	70 (-)	[-] (-)	
4年次	/		/		/		[-] (-)	[-] (-)	74 (-)	[-] (-)	
計	[] ()	366 (-)	-	567 (-)	[-] (-)						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	366人	1人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	1人	0人	除籍(1人)
			令和3年度	0人	0人	
令和4年度	567人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
合計		1人		1人	0人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{366} = \boxed{0.27} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{567} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<ビジネスデザイン学部 ビジネスデザイン学科>

(1) - 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
デザイン演習	ビジネスデザイン演習	3通	4			9	3	2				
	ビジネスデザイン演習	4通	4			8	3	3				
	小計(2科目)		8	0	0	9	3	3	0	0		
ビジネスデザイン実践	PBL入門	1前	4			4	2	2				
	PBL入門	1後	4			7	1					
	PBL応用	2前	4			3	2	3				
	PBL応用	2後	4			5	2	1				
	小計(4科目)		16	0	0	9	3	3	0	0		
ビジネスデザイン思考	ビジネス基礎	1前	2			1	1					
	ビジネスリーダーシップ	1前	2			2	1					
	ビジネスモデル	2前	2					1				
	ビジネスモデル演習	2後	2			1		1				
	問題解決法	2後	2			2						
	ロジカルシンキング(選択)	2後	2			1		1				
	デザインシンキング	3前		2				1				
	ビジネスモデル実践	3・4前		2					1			
小計(8科目)		12	4	0	5	2	2	0	0	0		
ビジネス理論・知識	(必修)											
	IT基礎	1前	2				2					
	プレゼンテーション	1後	2					2				
	ビジネス英語基礎	1後	2			1					兼1	
	フィールドワーク	2前	2			1		1				
	マーケティング	2前	2			1						
	テクノロジー・イノベーション	2前	2				1					
	起業とファイナンス	2後	2			1						
	組織デザインと人事管理	2後	2				1					
	アカウンティング	2後	2			1						兼1
	ビジネス英語応用	2後	2			1						兼1
	グローバルビジネス	3前	2			1						
	ビジネスと法	3前	2			1						
	商品企画	3前	2					1				
	ビジネスコミュニケーション	3前	2			1	1					
	ビジネスの社会性	3後	2			1						
	プロジェクトマネジメント	3後	2			1						
	ビジネスライティング	3後	2			2						
	経営戦略	3後	2			1						
	(選択必修)											
仕事で使う数学	1・2・3・4後		2								兼1	
プログラム開発	2・3・4前		2			1						
統計・データ分析	2・3・4後		2								兼1	
バイオ・農林水産	2・3・4後		2								兼1	

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
デザイン演習	ビジネスデザイン演習	3通	4			4	2	0				
	ビジネスデザイン演習	4通	4			3	2	0				
	小計(2科目)		8	0	0	4	2	0	0	0		
ビジネスデザイン実践	PBL入門	1前	4			2	3	2				
	PBL入門	1後	4			2	3	2				
	PBL応用	2前	4			2	0	1			兼4	
	PBL応用	2後	4			2	0	1			兼4	
	小計(4科目)		16	0	0	4	3	3	0	0	兼8	
ビジネスデザイン思考	ビジネス基礎	1前	2			1	0					
	ビジネスリーダーシップ	1前	2			1	0	1				兼1
	ビジネスモデル	2前	2					1				兼1
	ビジネスモデル演習	2後	2			0		1				
	問題解決法	2後	2			2						
	ロジカルシンキング(選択)	2前	2			0	1	1				
	デザインシンキング	3後		2				0				兼1
	ビジネスモデル実践(未開講)	3・4前		2					0			
小計(8科目)		12	4	0	4	1	2	0	0	兼3		
ビジネス理論・知識	(必修)											
	IT基礎	1前	2					2				
	プレゼンテーション	1後	2					1	1			
	ビジネス英語基礎	1後	2			1			1			兼0
	フィールドワーク	2後	2			1			0			
	マーケティング	2前	2			1						
	テクノロジー・イノベーション	2前	2					1				
	起業とファイナンス	2後	2			1						
	組織デザインと人事管理	2後	2					1				
	アカウンティング	2前	2			1						
	ビジネス英語応用	2後	2			1			1			兼0
	グローバルビジネス	3前	2			1						
	ビジネスと法	3後	2			0						兼1
	商品企画	3前	2						1			
	ビジネスコミュニケーション	3前	2			1	0					
	ビジネスの社会性	3後	2			1						
	プロジェクトマネジメント	3後	2			1						
	ビジネスライティング	3後	2			0	1					
	経営戦略	3前	2			1						
	(選択必修)											
仕事で使う数学	1・2・3・4後		2								兼1	
プログラム開発	2・3・4前		2				1					
統計・データ分析	2・3・4後		2								兼1	
バイオ・農林水産	2・3・4後		2								兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
ビジネス理論・知識	環境・エネルギー(選択)	2・3・4前		2								兼1
	マーケティング実践	3・4前		2				1				
	アカウンティング実践	3・4後		2		1						
	小計(25科目)		36	14	0	7	3	3	0	0		兼5
ドメイン	(必修)											
	食ビジネスA	1前	2			1						
	食ビジネスB	1後	2			1						
	農ビジネス	1前	2			1						
	福祉・医療・教育ビジネス	1前	2					1				
	健康・スポーツビジネス	1前	2			1						
	アパレル・住居ビジネス	1後	2			1						
	まちづくり・観光ビジネス	1後	2			1						
	ITビジネス	1後	2				1					
	(選択必修)											
	ファミリー企業経営	2前		2		1						
	ベンチャー企業経営	2前		2				1				
	社会的企業経営(選択)	2前		2								兼1
	フードシステム論	2後		2		1						
	店舗マネジメント	2後		2								兼1
	高齢者と介護	2後		2								兼1
	食文化論	3前		2		1						
	農産物市場論	3前		2		1						
	子どもの暮らしと社会	3前		2								兼1
	食品産業論	3後		2		1						
健康とスポーツ	3後		2								兼1	
地域とボランティア	3後		2					1				
小計(20科目)		16	24	0	4	1	2	0	0		兼5	
教養・文化	小説・詩・俳句	1・2・3・4後		2								兼1
	イラスト・絵画	1・2・3・4後		2								兼1
	将棋・囲碁	1・2・3・4後		2								兼1
	華道・茶道の心	1・2・3・4後		2								兼2
	映像・メディア	1・2・3・4後		2								兼1
	演劇・朗読	1・2・3・4後		2								兼1
	政治・経済のニュース	1・2・3・4後		2								兼1
	モチベーションとストレスケア	1・2・3・4後		2			1					
	世界の宗教・人権	1・2・3・4後		2								兼1
	小計(9科目)		0	18	0	0	1	0	0	0		兼9
インターンシップ	インターンシップ	2通	2					1				
	インターンシップ	3通	2					1				
	小計(2科目)		4	0	0	0	0	1	0	0	0	
合計(70科目)		92	60	0	9	3	3	0	0		兼19	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
ビジネス理論・知識	環境・エネルギー(選択)	2・3・4前		2								兼1
	マーケティング実践(未開講)	3・4後		2					0			
	アカウンティング実践(未開講)	3・4後		2		0						
	小計(25科目)		36	14	0	6	3	2	0	0		兼5
ドメイン	(必修)											
	食ビジネスA	1前	2			2						兼1
	食ビジネスB	1後	2			2						兼1
	農ビジネス	1前	2			2			1			
	福祉・医療・教育ビジネス	1前	2						2			兼1
	健康・スポーツビジネス	1前	2			3						
	アパレル・住居ビジネス	1後	2			1	1	1				
	まちづくり・観光ビジネス	1後	2			1						兼2
	ITビジネス	1後	2			1	0	1				兼1
	(選択必修)											
	ファミリー企業経営	2前		2		1						
	ベンチャー企業経営	2前		2					1			
	社会的企業経営(選択)	2前		2								兼1
	フードシステム論	2後		2		1						
	店舗マネジメント	2後		2								兼1
	高齢者と介護	2後		2								兼1
	食文化論	3前		2		0						兼1
	農産物市場論	3前		2		0						兼1
	子どもの暮らしと社会	3後		2								兼1
	食品産業論	3後		2		0						兼1
健康とスポーツ	3後		2								兼1	
地域とボランティア	3後		2					1				
小計(20科目)		16	24	0	4	1	3	0	0		兼14	
教養・文化	小説・詩・俳句	1・2・3・4後		2								兼1
	イラスト・絵画	1・2・3・4後		2								兼1
	将棋・囲碁	1・2・3・4後		2								兼2
	華道・茶道の心	1・2・3・4後		2								兼2
	日本を知る	1後		2								兼1
	映像・メディア	1・2・3・4後		2								兼1
	演劇・朗読	1・2・3・4後		2								兼1
	政治・経済のニュース	1・2・3・4後		2								兼1
	モチベーションとストレスケア	1・2・3・4後		2			1					
	データサイエンス入門	1前		2								兼1
	世界の宗教・人権	1・2・3・4後		2								兼1
小計(11科目)		0	22	0	0	1	0	0	0		兼12	
インターンシップ	インターンシップ	2後	2			1	1	1				
	インターンシップ	3後	2			2	1	0				
	小計(2科目)		4	0	0	3	2	1	0	0	0	
合計(72科目)		92	64	0	7	3	3	0	0		兼29	

卒業要件及び履修方法	
<p>ビジネスデザイン演習8単位(必修)、ビジネスデザイン実践16単位(必修)、ビジネスデザイン思考のうち、1、2年次に履修する12単位(必修)、ビジネス理論・知識のうち36単位(必修)、「仕事で使う数学」「プログラム開発」「統計・データ分析」「バイオ・農林水産」「環境・エネルギー」の5科目のうちから2科目4単位(選択必修)、ドメインのうち、1年次に履修する16単位(必修)、2年次春学期に履修する「ファミリー企業経営」「ベンチャー企業経営」「社会的企業経営」の3科目のうちから1科目2単位(選択必修)および2年次秋学期以降に履修するドメインから10単位以上(選択)、教養・文化16単位以上(選択)、インターンシップ4単位(必修)を修得し、合計124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限(年間):1年次および4年次:40単位、2年次および3年次:44単位(全学年、可能な限り時間割固定))</p>	

卒業要件及び履修方法	
<p>ビジネスデザイン演習8単位(必修)、ビジネスデザイン実践16単位(必修)、ビジネスデザイン思考のうち、1、2年次に履修する12単位(必修)、ビジネス理論・知識のうち36単位(必修)、「仕事で使う数学」「プログラム開発」「統計・データ分析」「バイオ・農林水産」「環境・エネルギー」の5科目のうちから2科目4単位(選択必修)、ドメインのうち、1年次に履修する16単位(必修)、2年次春学期に履修する「ファミリー企業経営」「ベンチャー企業経営」「社会的企業経営」の3科目のうちから1科目2単位(選択必修)および2年次秋学期以降に履修するドメインから10単位以上(選択)、教養・文化16単位以上(選択)、インターンシップ4単位(必修)を修得し、合計124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限(年間):1年次および4年次:40単位、2年次および3年次:44単位(全学年、可能な限り時間割固定))</p>	

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
デザイン演習	ビジネスデザイン演習	3通	4			3	2	0				
	ビジネスデザイン演習	4通	4			8	3	3				
	小計(2科目)		8	0	0	8	3	3	0	0		
ビジネスデザイン実践	PBL入門	1前	4			4	2	2				
	PBL入門	1後	4			5	1	3				
	PBL応用	2前	4			2	1	1				
	PBL応用	2後	4			2	2	0				
	小計(4科目)		16	0	0	6	3	3	0	0		
ビジネスデザイン思考	ビジネス基礎	1前	2			1	1					
	ビジネスリーダーシップ	1前	2			1	0	1				
	ビジネスモデル	2前	2					1				
	ビジネスモデル演習	2後	2			0		1				
	問題解決法	2後	2			1						
	ロジカルシンキング(選択)	2前	2			0	1	0				
	デザインシンキング	3後		2				0				兼1
	ビジネスモデル実践	3・4前		2				1				
小計(8科目)		12	4	0	3	2	2	0	0		兼1	
ビジネス理論・知識	(必修)											
	IT基礎	1前	2				2					
	プレゼンテーション	1後	2			1		1				兼0
	ビジネス英語基礎	1後	2			1		1				
	フィールドワーク	2後	2			1		0				
	マーケティング	2前	2			1						
	テクノロジーとイノベーション	2前	2				1					
	起業とファイナンス	2後	2			1						
	組織デザインと人事管理	2後	2				1					
	アカウンティング	2前	2			1						兼1
	ビジネス英語応用	2後	2			0						兼1
	グローバルビジネス	3前	2			1						兼1
	ビジネスと法	3後	2									兼1
	商品企画	3前	2					1				
	ビジネスコミュニケーション	3前	2			1	0					兼1
	ビジネスの社会性	3後	2			0						兼1
	プロジェクトマネジメント	3後	2			1						
ビジネスライティング	3後	2			0	1						
経営戦略(選択必修)	3前	2			1							
仕事で使う数学	1・2・3・4前		2								兼1	
プログラム開発	2・3・4前		2			1						
統計・データ分析	2・3・4後		2								兼1	
バイオ・農林水産	2・3・4後		2								兼1	
ビジネス理論・知識	環境・エネルギー(選択)	2・3・4前		2								兼1
	マーケティング実践	3・4後		2		1		0				
	アカウンティング実践	3・4後		2		1						
小計(25科目)		36	14	0	6	3	2	0	0		兼7	

授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
(必修)											
食ビジネスA	1前	2			1						
食ビジネスB	1後	2			1						
農ビジネス	1前	2			1						
福祉・医療・教育ビジネス	1前	2					1				
健康・スポーツビジネス	1前	2			1						
アパレル・住居ビジネス	1後	2			0		1				
まちづくり・観光ビジネス	1後	2			1						
ITビジネス	1後	2			1	0					
(選択必修)											
ファミリー企業経営	2前		2		1						
ベンチャー企業経営	2前		2				1				
社会的企業経営	2前		2								兼1
(選択)											
フードシステム論	2後		2		1						
店舗マネジメント	2後		2								兼1
高齢者と介護	2後		2								兼1
食文化論	3前		2		0						兼1
農産物市場論	3前		2		0						兼1
子どもの暮らしと社会	3後		2								兼1
食品産業論	3後		2		0						兼1
健康とスポーツ	3後		2								兼1
地域とボランティア	3後		2					1			
小計(20科目)			16	24	0	4	0	3	0	0	兼7
(教養・文化)											
小説・詩・俳句	1・2・3・4後			2							兼1
イラスト・絵画	1・2・3・4後			2							兼1
将棋・囲碁	1・2・3・4後			2							兼2
華道・茶道の心	1・2・3・4後			2							兼2
日本を知る	1後		2								兼1
映像・メディア	1・2・3・4後			2							兼1
演劇・朗読	1・2・3・4後			2							兼1
政治・経済のニュース	1・2・3・4後			2							兼1
モチベーションとストレスケア	1・2・3・4後			2			1				
データサイエンス入門	1前		2								兼1
世界の宗教・人権	1・2・3・4後			2							兼1
小計(11科目)			0	22	0	0	1	0	0	0	兼12
(インターンシップ)											
インターンシップ	2後		2		1		0				
インターンシップ	3後		2				1	0			
小計(2科目)			4	0	0	1	1	0	0	0	0
合計(72科目)			92	64	0	7	3	3	0	0	兼27
卒業要件及び履修方法											
<p>ビジネスデザイン演習8単位(必修)、ビジネスデザイン実践16単位(必修)、ビジネスデザイン思考のうち、1、2年次に履修する12単位(必修)、ビジネス理論・知識のうち36単位(必修)、「仕事で使う数学」「プログラム開発」「統計・データ分析」「バイオ・農林水産」「環境・エネルギー」の5科目のうちから2科目4単位(選択必修)、ドメインのうち、1年次に履修する16単位(必修)、2年次春学期に履修する「ファミリー企業経営」「ベンチャー企業経営」「社会的企業経営」の3科目のうちから1科目2単位(選択必修)および2年次秋学期以降に履修するドメインから10単位以上(選択)、教養・文化16単位以上(選択)、インターンシップ4単位(必修)を修得し、合計124単位以上修得すること。</p> <p>(履修科目の登録の上限(年間):1年次および4年次:40単位、2年次および3年次:44単位(全学年、可能な限り時間割固定))</p>											

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任・兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。
 - (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験・実習又は実技による授業科目」には「【 】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) - 授業科目表に関する変更内容

【令和3年度】

- ・適正なクラス数の配置により、「ビジネスデザイン演習」の教員の配置を「教授9・准教授3・講師2」から「教授3・准教授2」に変更。
- ・担当教員変更により、「PBL入門」の教員の配置を「教授7・准教授1」から「教授5・准教授1・講師3」に変更。
- ・担当教員変更により、「PBL応用」の教員の配置を「教授3・准教授2・講師3」から「教授2・准教授1・講師1」に変更。
- ・担当教員変更により、「PBL応用」の教員の配置を「教授5・准教授2・講師1」から「教授2・准教授2」に変更。
- ・担当教員の未就任により、「ビジネスリーダーシップ」の教員の配置を「教授2・准教授1」から「教授1・講師1」に変更。
- ・担当教員変更により、「ビジネスモデル演習」の教員の配置を「教授1・講師1」から「講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「問題解決法」の教員の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ロジカルシンキング」の教員の配置を「教授1・講師1」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員変更により、「デザインシンキング」の教員の配置を「准教授1」から「兼任講師1」に変更。
- ・担当教員変更により、「プレゼンテーション」の教員の配置を「講師2」から「教授1・講師1」に変更。
- ・担当教員変更により、「ビジネス英語基礎」の教員の配置を「教授1・兼1」から「教授1・講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「フィールドワーク」の教員の配置を「教授1・講師1」から「教授1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ビジネス英語応用」の教員の配置を「教授1・兼任講師1」から「兼任講師1」に変更。
- ・担当教員変更により、「ビジネスと法」の教員の配置を「教授1」から「兼任教授1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ビジネスコミュニケーション」の教員の配置を「教授1・准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員変更により、「ビジネスの社会性」の教員の配置を「教授1」から「兼任講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ビジネスライティング」の教員の配置を「教授2」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員変更により、「マーケティング実践」の教員の配置を「講師1」から「教授1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「アパレル・住居ビジネス」の教員の配置を「教授1」から「講師1」に変更。
- ・担当教員変更により、「ITビジネス」の教員の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員変更により、「食文化論」の教員の配置を「教授1」から「兼任講師1」に変更。
- ・担当教員変更により、「農産物市場論」の教員の配置を「教授1」から「兼任講師1」に変更。
- ・担当教員変更により、「食品産業論」の教員の配置を「教授1」から「兼任講師1」に変更。
- ・教育内容充実のため、「将棋・囲碁」の教員の配置を「兼1」から「兼任講師2」に変更。
- ・担当教員変更により、「インターンシップ」の教員の配置を「講師1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員変更により、「インターンシップ」の教員の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・開講期間の見直しにより、「デザインシンキング」「フィールドワーク」「ビジネスと法」「マーケティング実践」「子どもの暮らしと社会」の配当年次を「前期」から「後期」に変更。
- ・開講期間の見直しにより、「ロジカルシンキング」「アカウンティング」「経営戦略」の配当年次を「後期」から「前期」に変更。
- ・開講期間の見直しにより、「インターンシップ」「インターンシップ」の配当年次を「通年」から「後期」に変更。
- ・教育内容充実のため、「日本を知る」の授業科目を新設。
- ・教育内容充実のため、「データサイエンス入門」の授業科目を新設。

【令和4年度】

- ・適正なクラス数の配置により、「ビジネスデザイン演習」の教員の配置を「教授9・准教授3・講師2」から「教授4・准教授2」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ビジネスデザイン演習」の教員の配置を「教授8・准教授3・講師3」から「教授3・准教授2」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「PBL入門」の教員の配置を「教授4・准教授2・講師2」から「教授2・准教授3・講師2」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「PBL入門」の教員の配置を「教授7・准教授1」から「教授2・准教授3・講師2」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「PBL応用」の教員の配置を「教授3・准教授2・講師3」から「教授2・講師1・兼任講師3・兼任講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「PBL応用」の教員の配置を「教授5・准教授2・講師1」から「教授2・講師1・兼任講師4」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ビジネス基礎」の教員の配置を「教授1・准教授1」から「教授1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ビジネスリーダーシップ」の教員の配置を「教授2・准教授1」から「教授1・講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ビジネスモデル」の教員の配置を「講師1」から「講師1・兼任講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ビジネスモデル演習」の教員の配置を「教授1・講師1」から「講師1・兼任講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ロジカルシンキング」の教員の配置を「教授1・講師1」から「准教授1・講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「デザインシンキング」の教員の配置を「准教授1」から「兼任講師1」に変更。
- ・担当教員変更により、「プレゼンテーション」の教員の配置を「講師2」から「准教授1・講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ビジネス英語基礎」の教員の配置を「教授1・兼任講師1」から「教授1・講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「フィールドワーク」の教員の配置を「教授1・講師1」から「教授1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ビジネス英語応用」の教員の配置を「教授1・兼任講師1」から「教授1・講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ビジネスと法」の教員の配置を「教授1」から「兼任講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ビジネスコミュニケーション」の教員の配置を「教授1・准教授1」から「教授1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ビジネスライティング」の教員の配置を「教授2」から「准教授1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「食ビジネスA」の教員の配置を「教授1」から「教授2・兼任講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「食ビジネスB」の教員の配置を「教授1」から「教授2・兼任講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「農ビジネス」の教員の配置を「教授1」から「教授2・講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「福祉・医療・教育ビジネス」の教員の配置を「講師1」から「講師2・兼任講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「健康・スポーツビジネス」の教員の配置を「教授1」から「教授3」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「アパレル・住居ビジネス」の教員の配置を「教授1」から「教授1・准教授1・講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「まちづくり・観光ビジネス」の教員の配置を「教授1」から「教授1・兼任講師2」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ITビジネス」の教員の配置を「准教授1」から「教授1・講師1・兼任講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「食文化論」の教員の配置を「教授1」から「兼任講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「農産物市場論」の教員の配置を「教授1」から「兼任講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「食品産業論」の教員の配置を「教授1」から「兼任講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「将棋・囲碁」の教員の配置を「兼任講師1」から「兼任講師2」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「インターンシップ」の教員の配置を「講師1」から「教授1・准教授1・講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「インターンシップ」の教員の配置を「講師1」から「教授2・准教授1」に変更。

(注)・ 2(1)ー 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
40 科目	30 科目	0 科目	70 科目	40 科目 []	32 科目 [2]	0 科目 []	72 科目 [2]	

(注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合： -1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注)・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{70} = \boxed{}0\%$$

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況，経費

区 分		内 容				備 考					
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 < 共用する他の学校 > 桃山学院高等学校（収容定員 2,280名）基準面積（運動場とし て）8,400㎡（中学校との共用 可） 桃山学院中学校（収容定員360 名）基準面積（運動場として） 4,800㎡ 精算誤りによる変更。（3）					
	校舎敷地	85,862㎡	1,155.30㎡	13,699.7㎡	100,717㎡						
	運動場用地	84,176㎡	0㎡	11,540㎡	95,716㎡						
	小 計	170,038㎡	1,155.30㎡	25,239.7㎡	196,433㎡						
	そ の 他	14,402㎡ 14,405㎡	0㎡	0㎡	14,402㎡ 14,405㎡						
	合 計	184,440㎡ 184,443㎡	1,155.30㎡	25,239.7㎡	210,835㎡ 210,838㎡						
(2) 校 舎	専 用	62,842.2㎡ 61,945.4㎡	0㎡	0㎡	62,842.2㎡ 61,945.4㎡	大学全体 新校舎完成まで教場として賃借し ていたビルの1フロアを令和2年12 月末で契約終了することになっ ていたが、継続して賃借すること になったため、また、建築基準法に よる面積から登記簿面積としたた め。（3）					
	(62,842.28㎡) (-61,945.4㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(62,842.28㎡) (-61,945.4㎡)							
(3) 教 室 等	講 義 室	76室 74室	演 習 室	51室	実験実習室	8室	情報処理学習施設	9室 7人 (補助職員 5人)	語学学習施設	2室 (補助職員 0人)	大学全体 新校舎完成まで教場として賃借し ていたビルの1フロアを令和2年12 月末で契約終了することになっ ていたが、継続して賃借すること になったため。（3）
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称				室 数					
		ビジネスデザイン学部ビジネスデザイン学科				16 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機 械 ・ 器 具	標 本				
		〔うち外国書〕	〔うち外国書〕								
	冊	種		点	点	点					
	ビジネスデザイン学部 ビジネスデザイン学科	741,226 [232,221] 738,565 [231,341] 738,266 [231,341] (741,226 [232,221]) (738,565 [231,341]) (738,266 [231,341])	7,398 [2,289] 7,846 [2,289] 7,856 [2,294] (7,398 [2,289]) (7,846 [2,289]) (7,856 [2,294])		4,842 [4,838] 4,635 [4,634] 4,636 [4,634] (4,842 [4,838]) (4,635 [4,634]) (4,636 [4,634])	39,831 39,818 39,814 (39,831) (39,818) (39,814)	17,314 16,870 15,339 (17,314) (16,870) (15,339)	(1)			
計	741,226 [232,221] 738,565 [231,341] 738,266 [231,341] (741,226 [232,221]) (738,565 [231,341]) (738,266 [231,341])	7,398 [2,289] 7,846 [2,289] 7,856 [2,294] (7,398 [2,289]) (7,846 [2,289]) (7,856 [2,294])		4,842 [4,838] 4,635 [4,634] 4,636 [4,634] (4,842 [4,838]) (4,635 [4,634]) (4,636 [4,634])	39,831 39,818 39,814 (39,831) (39,818) (39,814)	17,314 16,870 15,339 (17,314) (16,870) (15,339)	(1)				
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数						
	8,673㎡		728席 737席 724席		886,389		大学全体				
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要								
	11,966.42㎡		テニスコート		和弓場、洋弓場		大学全体				
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経 費 の 見 積 り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	共同研究費：大学全体		
		教員1人当り研究費等	495千円	495千円	図書購入費	7,037千円	7,037千円	7,037千円	図書購入費には電子ジャーナル・ データベースの整備費（運用コスト 含む）を含む。		
	共 同 研 究 費 等	9,584千円	9,584千円	設備購入費	80,555千円	18,690千円	18,690千円				
	学 生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次				
	1,199千円	969千円	969千円	969千円	969千円	- 千円	- 千円				
学生納付金以外の維持方法の概要		補助金収入、寄付金収入、雑収入等									

(注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	桃山学院大学					学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
国際教養学部											
英語・国際文化学科	4	275	-	1,100	学士(国際教養学)	1.00	0.86	-	平成20	大阪府和泉市まなび野1-1	平成31年度入学定員変更(15)
社会学部											
社会学科	4	260	-	1,040	学士(社会学)	1.03	1.09	-	昭和41	同上	
ソーシャルデザイン学科	4	100	-	400	学士(社会福祉学)	0.96	0.88	-	平成10	同上	令和4年度学科名称変更
法学部											
法律学科	4	200	-	800	学士(法学)	1.00	1.04	-	平成14	同上	
経済学部											
経済学科	4	360	-	1,440	学士(経済学)	1.03	1.04	-	昭和34	同上	
経営学部											
経営学科	4	295	-	1,180	学士(経営学)	1.03	1.07	令和3	昭和48	同上	平成31年度入学定員変更(55) 令和3年度入学定員変更(70)
ビジネスデザイン学部											
ビジネスデザイン学科	4	200	-	800	学士(ビジネスデザイン)	1.06	1.01	令和3	令和3	大阪市阿倍野区昭和町3-1-57	学部の設置(届出) 令和2年度未経営学部ビジネスデザイン学科(入学定員70)を廃止し、同時に同学科在籍者全員をビジネスデザイン学部に転学部。入学定員詳細下記。 1年次:200 2年次:70(経営学部ビジネスデザイン学科より転学部) 3年次:70(同上)
大学全体	-	1,690	-	6,760	-	-	-	-	-	-	
博士前期課程											
文学研究科											
言語・文化専攻	2	10	-	20	修士(文学)	0.20	0.20	-	平成5	大阪府和泉市まなび野1-1	
社会学研究科											
応用社会学専攻	2	10	-	20	修士(社会学)	0.70	0.60	-	平成12	同上	
経済学研究科											
応用経済学専攻	2	10	-	20	修士(経済学)	0.65	0.80	-	平成10	同上	
経営学研究科											
経営学専攻	2	10	-	20	修士(経営学)	0.85	0.90	-	平成5	同上	

博士後期課程												
文学研究科												
比較文化学専攻	3	4	-	12	博士 (文学)	0.00	0.00	-	平成11	同上		
社会学研究科												
応用社会学専攻	3	3	-	9	博士 (社会学)	0.33	0.00	-	平成15	同上		
経済学研究科												
応用経済学専攻	3	3	-	9	博士 (経済学)	0.99	0.33		平成14	同上		
経営学研究科												
経営学専攻	3	3	-	9	博士 (経営学)	0.00	0.00		平成11	同上		
大学院全体	-	53	-	119	-	-	-	-	-	-	-	
大学の名称	桃山学院教育大学					学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備考		
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地		
人間教育学部	年	人	年次人	人		倍	倍					
人間教育学科	4	270	-	1,080	学士 (教育学)	0.97	0.91	-	平成26	大阪府堺市南区 槇塚台4-5-1	令和3年度入学定員変更(95)	
大学全体	-	270	-	1,080	-	-	-	-	-	-		

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

(1) 担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

--

【令和2年度】

--

【令和3年度】

<ul style="list-style-type: none">令和3年3月浅田孝幸教授の就任辞退（未就任）。「ビジネスデザイン演習」の担当を浅田孝幸教授から、「未定」に変更。「農産物市場論」「食品産業論」の担当を菊地昌弥教授から、佐藤敦信兼任講師に変更。「食文化論」の担当を菊地昌弥教授から、岸上光克兼任講師に変更。「PBL入門」の担当を菊地昌弥教授から、奥田浩二教授に変更。「ビジネスモデル演習」「ビジネスデザイン演習」の担当を朴大栄教授から担当者未定。「ビジネスと法」の担当を朴大栄教授から、大川清植教授（兼任）に変更。「PBL入門」の担当を朴大栄教授から伊澤映子教授に変更。「PBL入門」の担当を朴大栄教授から服部繁一准教授に変更。「PBL応用」の担当を玄野博行教授から大村鍾太准教授に変更。「ビジネスの社会性」の担当を牧野丹奈子教授から白井信雄兼任講師に変更。「問題解決法」「ビジネスデザイン演習」の担当を牧野丹奈子教授から担当者未定。「ロジカルシンキング」の担当を牧野丹奈子教授から大村鍾太准教授に変更。「PBL入門」の担当を牧野丹奈子教授から稲田優子講師に変更。「PBL応用」の担当を牧野丹奈子教授から朴大栄教授に変更。「PBL応用」の担当を阿辻茂夫教授から朴大栄教授に変更。「PBL応用」「ビジネスデザイン演習」の担当を阿辻茂夫教授から担当者未定。「ビジネスリーダーシップ」の担当を藤田勝利教授から岩田千栄美講師に変更。「PBL入門」の担当を藤田勝利教授から岡田明穂講師に変更。「まちづくり・観光ビジネス」の担当を伊澤映子教授から朴大栄教授に変更。「ビジネス英語応用」の担当を伊澤映子教授から岡井加女代兼任講師に変更。「ビジネスライティング」の担当を伊澤映子教授から服部繁一准教授に変更。「ビジネスデザイン演習」の担当を伊澤映子教授から担当者未定。「ビジネスライティング」「ビジネスデザイン演習」の担当を奥田浩二教授から担当者未定。「ビジネスリーダーシップ」の担当を大村鍾太准教授から伊澤映子教授に変更。「デザインシンキング」の担当を大村鍾太准教授から松波晴人兼任講師に変更。「PBL入門」の担当を大村鍾太准教授から阿辻茂夫教授に変更。「PBL入門」の担当を酒井之子准教授から岩田千栄美講師に変更。「PBL応用」の担当を酒井之子准教授から担当者未定。「ビジネスコミュニケーション」「PBL応用」「ビジネスデザイン演習」の担当を服部繁一准教授から担当者未定。「ITビジネス」の担当を服部繁一准教授から奥田浩二教授に変更。「プレゼンテーション」の担当を岡田明穂講師から阿辻茂夫教授に変更。「マーケティング実践」の担当を岡田明穂講師から玄野博行教授に変更。「PBL応用」「ビジネスデザイン演習」の担当を岡田明穂講師から担当者未定。「フィールドワーク」の担当を岩田千栄美講師から担当者未定。「福祉・医療・教育ビジネス」の担当を岩田千栄美講師から岡田明穂講師に変更。「PBL入門」の担当を岩田千栄美講師から酒井之子准教授に変更。「PBL応用」の担当を岩田千栄美講師から担当者未定。「ロジカルシンキング」「PBL応用」「ビジネスデザイン演習」の担当を稲田優子講師から担当者未定。「インターンシップ」の担当を稲田優子講師から朴大栄教授に変更。「インターンシップ」の担当を稲田優子講師から大村鍾太准教授に変更。「アカウンティング実践」「ファミリー企業経営」の担当者未定から朴大栄教授に変更。「プロジェクトマネジメント」の担当者未定から奥田浩二教授に変更。「PBL入門」の担当者未定から岡田明穂講師に変更。「ビジネス英語基礎」「アパレル・住居ビジネス」の担当者未定から稲田優子講師に変更。「子どもの暮らしと社会」の担当者未定から李慶姫兼任講師に変更。「健康とスポーツ」の担当者未定から水流量二兼任講師に変更。「将棋・囲碁」の担当者未定から大橋成哉兼任講師に変更。「政治・経済のニュース」の担当者未定から加藤康裕兼任講師に変更。「データサイエンス入門」の担当者未定から大田靖准教授（兼任）に変更。「日本を知る」の担当者未定から湯峯裕兼任講師に変更。
--

【令和4年度】

<ul style="list-style-type: none">「農ビジネス」はクラス増に伴い、菊地昌弥教授、朴大栄教授、稲田優子講師が担当。「食ビジネスA」はクラス増に伴い、牧野丹奈子教授、朴大栄教授、濱島敦博兼任講師が担当。「データサイエンス入門」は大田靖准教授（兼任）から濱島敦博兼任講師に変更。「PBL入門」はクラス減に伴い、玄野博行教授、奥田浩二教授、大村鍾太准教授、酒井之子准教授、服部繁一准教授、岩田千栄美講師、岡田明穂講師が担当。「PBL入門」はクラス減に伴い、伊澤映子教授、奥田浩二教授、大村鍾太准教授、酒井之子准教授、服部繁一准教授、岩田千栄美講師、岡田明穂講師が担当。「PBL応用」はクラス増に伴い、藤田勝利教授、伊澤映子教授、稲田優子講師、藤井暢人講師（兼任）、喜沼照直兼任講師、藤城克也兼任講師、橋本かおり兼任講師が担当。「PBL応用」はクラス増に伴い、藤田勝利教授、玄野博行教授、稲田優子講師、兼任講師4名（担当者未定）が担当。「将棋・囲碁」の担当を山口給菜兼任講師から長谷川優貴兼任講師に変更。「福祉・医療・教育ビジネス」はクラス増に伴い、岡田明穂講師、稲田優子講師、井上朋宏兼任講師が担当。「ロジカルシンキング」はクラス増に伴い、大村鍾太准教授、岩田千栄美講師が担当。「ビジネスモデル」はクラス増に伴い、岡田明穂講師、井上朋宏兼任講師が担当。「健康・スポーツビジネス」はクラス増に伴い、朴大栄教授、牧野丹奈子教授、奥田浩二教授が担当。「ビジネス基礎」の担当を阿辻茂夫教授、酒井之子准教授から玄野博行教授に変更。「ビジネス英語応用」の担当を岡井加女代兼任講師から伊澤映子教授、稲田優子講師に変更。「映像・メディア」の担当を境真理子教授（兼任）から担当者未定へ変更。「問題解決法」はクラス増に伴い、藤田勝利教授、奥田浩二教授が担当。「ビジネスモデル演習」はクラス増に伴い、岡田明穂講師、兼任講師1名（担当者未定）に変更。「プレゼンテーション」の担当阿辻茂夫教授、岩田千栄美講師から服部繁一准教授、岩田千栄美講師に変更。「ビジネスの社会性」の担当を白井信雄兼任講師から牧野丹奈子教授に変更。「インターンシップ」はクラス増に伴い、朴大栄教授、大村鍾太准教授、岩田千栄美講師が担当。「インターンシップ」はクラス増に伴い、菊地昌弥教授、牧野丹奈子教授、大村鍾太准教授が担当。「まちづくり・観光ビジネス」はクラス増に伴い、朴大栄教授、兼任講師2名（担当者未定）に変更。「食ビジネスB」はクラス増に伴い、菊地昌弥教授、朴大栄教授、兼任講師1名（担当者未定）に変更。「ITビジネス」はクラス増に伴い、朴大栄教授、岡田明穂講師、兼任講師1名（担当者未定）に変更。「アパレル・住居ビジネス」はクラス増に伴い、朴大栄教授、服部繁一准教授、稲田優子講師に変更。「ビジネスモデル実践」「マーケティング実践」「アカウンティング実践」は履修希望者がいなかったため、未開講。

(注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、**大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「年 月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・ 不要な年度（令和2年度開設であれば令和元年度）の表は削除せず、斜線を入れてください。

(2) 専任教員数等

(2) - 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
14	7
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
9	3	3	0	15	0	8	3	3	0	14	0
(8)	(3)	(3)	(0)	(14)	(0)						
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
8	3	3	0	14	0	9	3	3	0	15	0
[1]	[0]	[0]	[0]	[14]	[0]	[9]	[3]	[3]	[0]	[15]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、観可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
 []内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: 1)
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 []内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: 1)

(2) - 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢(歳)	報告時(上記 (B))の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時(上記 (C))の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
70	1	1
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段階書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{14}{15} = \boxed{93.33} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{1}{14} = \boxed{7.14} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	教授	浅田 孝幸	R2.9	必修	ビジネスデザイン演習		R3.4に就任予定（経営学部ビジネスデザイン学科より移籍）であったが、一身上の都合によりR2.9末に退職したため、未就任となった。			
				必修	PBL入門					
				必修	PBL入門					
				必修	ビジネスリーダーシップ					
				必修	プロジェクトマネジメント					
				必修	アパレル・住居ビジネス					
				選択	ファミリー企業経営					
選択	アカウンティング実践									
合計（D）					後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		の合計数(a)		の合計数(b)		の合計数(c)		
1	人	必修	6	科目	必修	5	科目	必修	0	科目
		選択	2	科目	選択	2	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	8	科目	計	7	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「 」～「 」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「 」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「 」
・後任未定、科目廃止など、上記「 」～「 」以外の場合は「 」

(3) - 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1		該当者なし								
合計（F）					後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		の合計数(a)		の合計数(b)		の合計数(c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「 」～「 」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「 」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「 」
・後任未定、科目廃止など、上記「 」～「 」以外の場合は「 」

(3) - 上記(3) - (3) - の合計

合計（D）+（F）					後任補充状況の集計（E）+（G）					
辞任等した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		の合計数(a)		の合計数(b)		の合計数(c)		
1	人	必修	6	科目	必修	5	科目	必修	0	科目
		選択	2	科目	選択	2	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	8	科目	計	7	科目	計	0	科目

(3) - 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - \text{合計(D)+(F)}}{(2) - \text{設置時の計画(A)}} = \frac{1}{15} = 6.66\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - 令和3年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

- 人

- (注) ・ (3) - 、(3) - で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) - 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1		該当者なし								
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a)+(b)+(c)			の合計数 (a)		の合計数 (b)		の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注)・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「 」～「 」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「 」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「 」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「 」～「 」以外の場合は「 」
--

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>未就任教員については、R3年度の本学部開設前に退職(R2.9)しているため、同年度中に学生への周知を済ませている。また、1名が体調不良による休職中(R3.7月～)であるが、同様に同年度中に学生への周知を済ませている。担当予定であった科目については、他の専任教員が担当している。前者の後任の採用活動については継続して行っている。</p>
--

- (注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
届 出 時 (令和2年)	運動場及び体育館が別地にあることから、教育に支障のないようにすることはもとより、学生の課外活動等に配慮すること。	遵守事項 本学部のカリキュラムには体育は含まれておらず教育への支障はない。また授業は基本的に5限目（終了時刻17時50分）までで編成されており、学生は和泉キャンパスで行われる課外活動にも参加可能である。課外活動の情報は、学生生活全般のガイドブック「Campus Guide」で案内しているほか、オフィスに担当者も配置し相談・サポート体制を整えている。	履行中
設置計画履行状況 調査結果 (令和3年度)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

< ビジネスデザイン学部 ビジネスデザイン学科 >

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注)・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

実施体制

a 委員会の設置状況

桃山学院大学に、全学ファカルティ・ディベロップメント(教育活動の質的向上・発展に関して組織的かつ恒常的に行う活動をいう。以下「FD」という。)推進委員会(以下、「委員会」という。)を置く。
(全学ファカルティ・ディベロップメント(FD)推進委員会規程第1条)

委員会は、学部・研究科および学内諸組織が行うFDを支援するとともに、全学的かつ恒常的にFDの検討を行い、その質的充実を図ることを目的とする。
(全学ファカルティ・ディベロップメント(FD)推進委員会規程第2条)

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

委員長は副学長が務め、委員は各学部教授会と共通教育機構から選出された教員(各1名)、その他委員長が認めた者により構成され、月1回程度実施している。2021(令和3)年度は年間12回開催した。

c 委員会の審議事項等

1. 教育活動の質的向上に向けた施策の検討と推進
2. 学生の学習能力の育成、学習支援に関わる施策の検討と推進
3. 講演会および研修会等の企画立案
4. 学部・研究科および学内諸組織が行うFDに対する支援
5. 他大学等のFDに関する資料、セミナー等の情報の収集と学内諸組織への提供
6. 各年度における本学FDの総括的把握と検討
7. その他FDの推進に必要な事項
(全学ファカルティ・ディベロップメント(FD)推進委員会規程第5条)

実施状況

a 実施内容

- ・授業評価アンケートの実施
- ・SA・TA制度の運用
- ・全学FD研修会の開催
- ・FD NEWSの発行 他

b 実施方法

授業評価アンケートは、各学期に実施期間を決め、対象科目の授業時間内に実施している。本学部では、既設の学部とキャンパスや教育課程が異なるので別途アンケートを作成し調査を行っている。

また、本学部ではLA(ラーニングアシスタント)制度を一部科目で運用している。LA学生は授業前後に担当教員と当日の授業においてあるべきゴール、スタイルのイメージや、その実現に向けての要望を伝え、話し合うようしている。

また学期期間中には、学部会議を原則毎週実施しており、授業上の工夫などについて情報交換を行っている。

c 開催状況(教員の参加状況含む)

授業アンケートは、全科目で専任・兼任問わず各学期実施している。

LA学生については、特に本学部の中心科目であるPBL科目について、毎週授業後に全体ミーティングを実施し、担当教員全員とLA全員が参加して、振り返りと次週の授業についての打ち合わせを行うなどし、授業の質向上を図っている。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

本学部では、アンケートの結果を学部会議において授業の進捗や学生情報等と共に本学部所属の教員全員で共有している。またアンケート結果共有後にFD活動をおこなっている。アンケートで好結果を得た教員から授業で工夫している点等について報告をおこない、質疑応答を実施し各教員が授業改善に取り組んでいる。

学部会議では、学生が授業同士の繋がりを感しながら学べるカリキュラムであることを相互確認するために、授業の内容についての話し合いを行い、授業の質向上を図っている。

学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

毎学期実施

2022年度実施予定期間 春学期：2022(令和4)年 7月28日(木)～ 8月7日(日)

秋学期：2023(令和5)年 1月24日(火)～ 2月5日(日)

b 教員や学生への公開状況、方法等

本学部では、アンケートの結果を学部会議において授業の進捗や学生情報等と共に本学部所属の教員全員で共有している。

(注)・「 a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「 実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

ビジネスデザイン学部ビジネスデザイン学科は、経営学部ビジネスデザイン学科を基礎としながら、次に記載する人材の育成が求められていると認識し、「ビジネスデザインの理論と実際について研究、教授し、国際社会に活躍し得る人材の育成」を教育目標および人材養成の目的とし、2021（令和3）年4月に設置された。
・「Society 5.0」を牽引するために必要となる幅広い知識・技能、思考力・判断力・表現力および高度なコミュニケーション力を備え、新たなビジネスを創造することにより社会課題を解決できる人材

教育課程については教育内容の充実を図るために、一部授業科目を新設し、移行期を除く授業科目についてはすべて開講・実施している。教員組織については教授1名の未就任があったものの、その他の教員（教授・准教授・講師・兼任や兼任）を配置し、概ね計画通り段階的に編成・維持している。実践、実技、実習科目においては、複数の実務家教員を配置し、70を超える企業・行政・団体の企業人と共に学ぶ問題解決型学習（PBL）を実践している。入学者選抜は計画どおり実施し、2021（令和3）年度入学者は221名、2022（令和4）年度入学者は202名であった。施設・設備等については、当初の予定通りあべのキャンパス（大阪市阿倍野区昭和町3-1-57）で授業を実施している。

以上のことから、現時点において一部教員組織の計画変更があったものの、達成状況は概ね良好である。

自己点検・評価報告書

a 公表時期

・2022（令和4）年4月19日 公表済

b 公表方法

・大学Webサイト上に公表済 <https://www.andrew.ac.jp/info/accredited.html>

認証評価を受ける計画

・令和3年度に公益財団法人大学基準協会による大学評価（認証評価）を受審し、「評価の結果、貴大学は本協会の大学基準に適合していると認定する。認定の期間は2029（令和11）年3月31日までとする。」との結果を受けた。次回は、令和10年度に受審することを予定している。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

設置計画履行状況報告書（令和4年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

aで「有」の場合

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

aで公表「無」の場合

d 公表しない理由 [()]

設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。